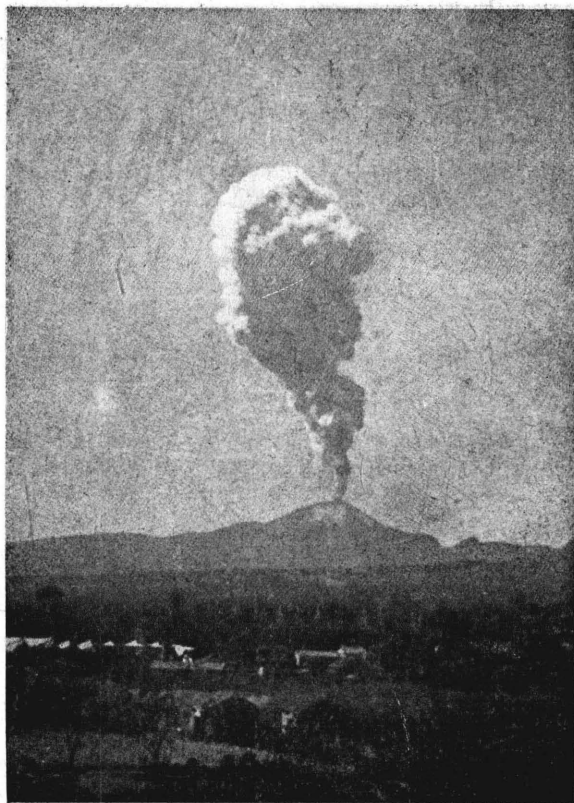


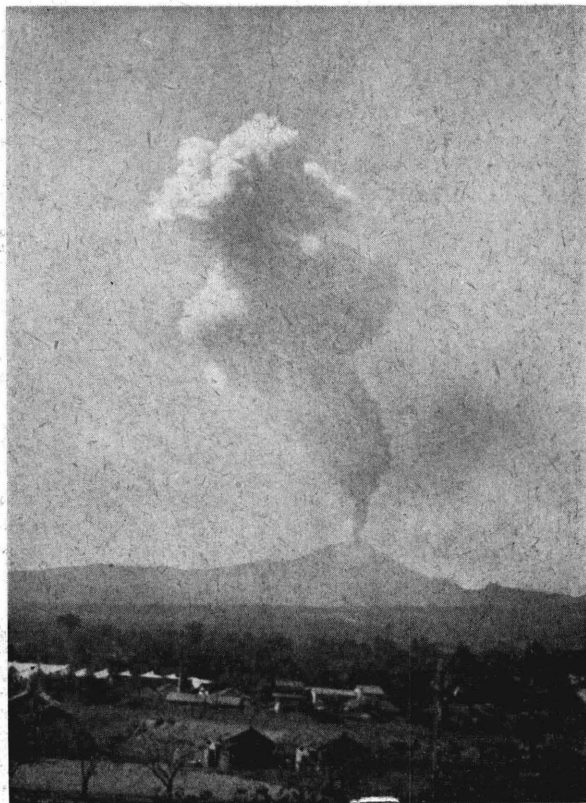
昭和13年10月27日
10時09分頃の爆發

淺間山爆發寫眞 (其の1)



(10時13分30秒)

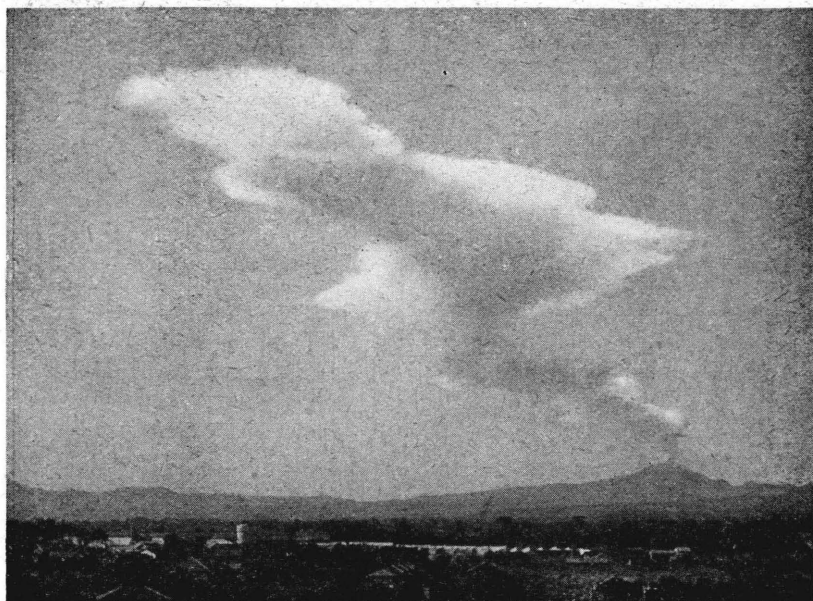
噴煙の高度は海拔約9,000米と推測される



(10時16分)

(前橋測候所 久保撮影)

昭和18年10月27日
10時09分頃の爆發 淺間山爆發寫眞(其の2)



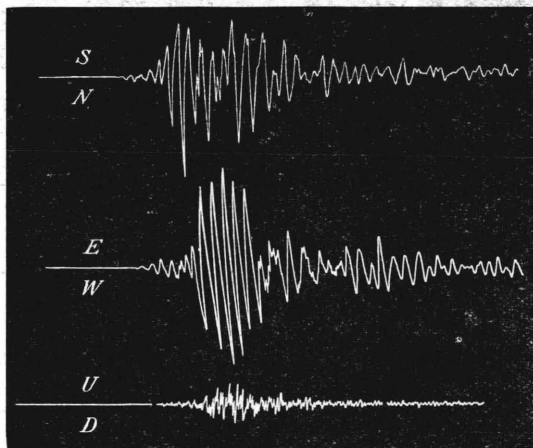
(10時28分)



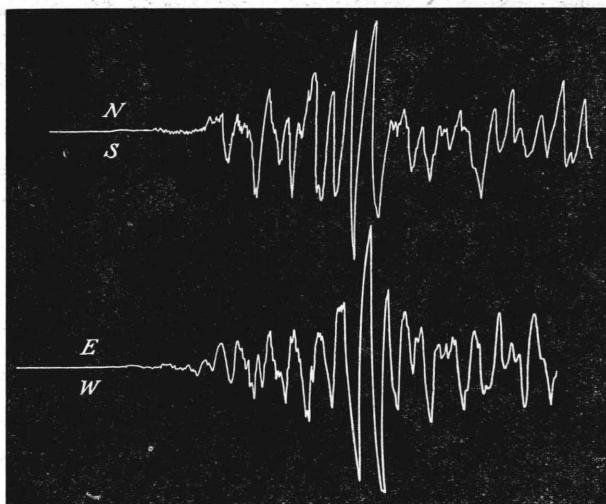
(10時42分)

(前橋測候所 久保撮影)

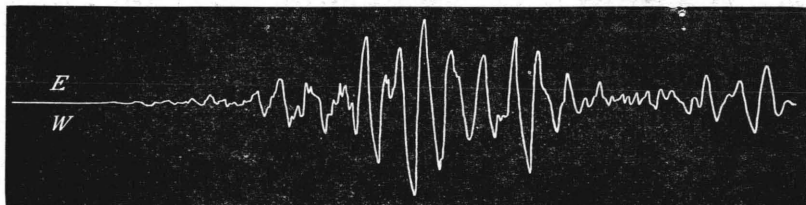
(17時43分頃の地震)



筑波山 (強震計, 倍率 2×0.6)

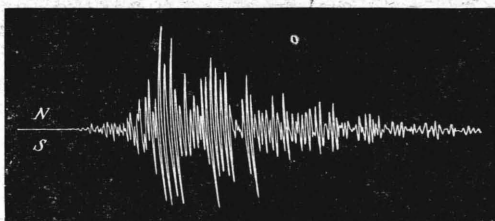


東京 (強震計, 倍率 1×0.6)



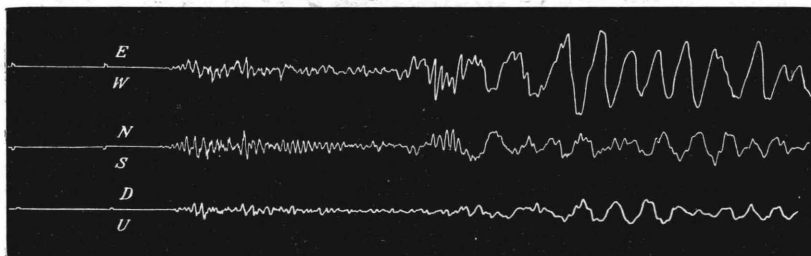
三島 (強震計, 倍率 1×0.6)

(17時43分頃の地震)



長野 (強震計, 倍率 2×0.45)

(17時43分頃の地震)



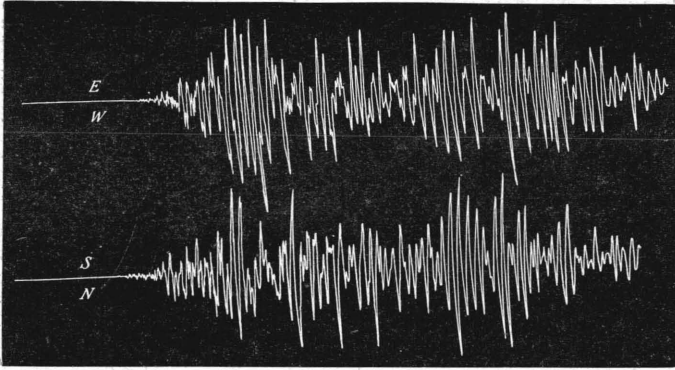
名瀬 (ワイヤヘルト式地震計, 倍率 80×0.45)

(19時50分頃の地震)

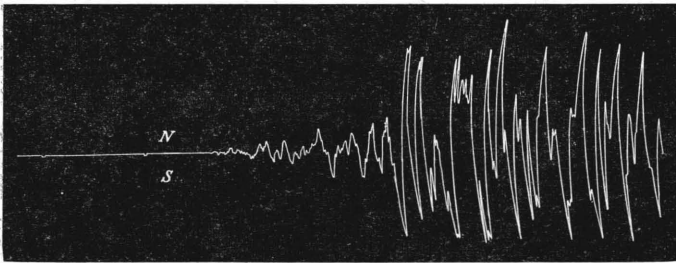


前橋 (強震計, 倍率 2×0.45)

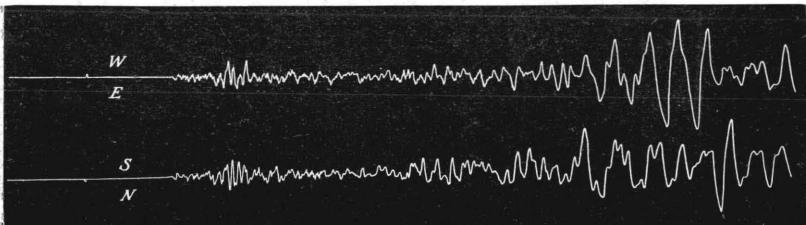
(19 時 50 分頃の地震)



横濱 (強震計, 倍率 2×0.45)

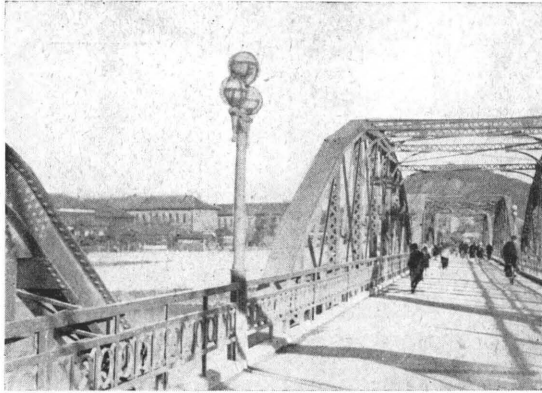


潮岬 (ワイヤヘルト式地震計, 倍率 80×0.45)

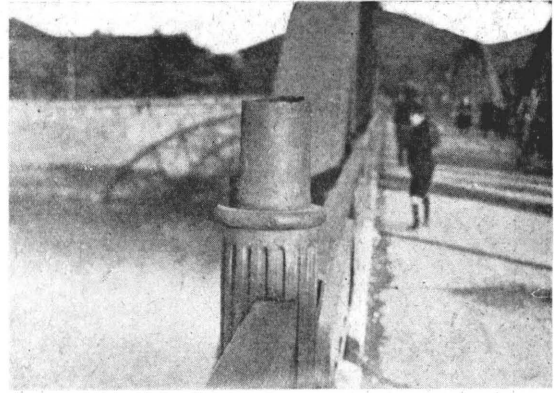


屋久島 (ワイヤヘルト式地震計, 倍率 80×0.45)

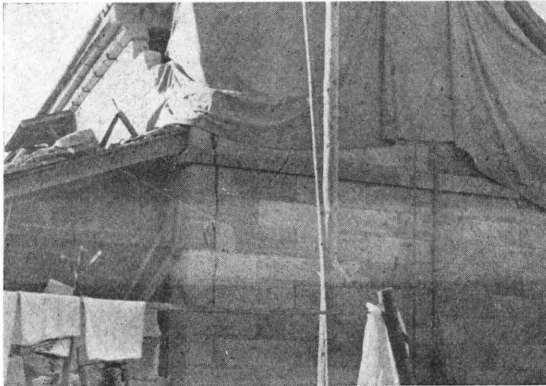
昭和13年
11月5日 福島縣東方沖地震被害寫眞 (其の1)



第1圖 福島市松齡橋の街燈(被害なきもの)



第2圖 福島市松齡橋の街燈柱の切斷された箇所を示す



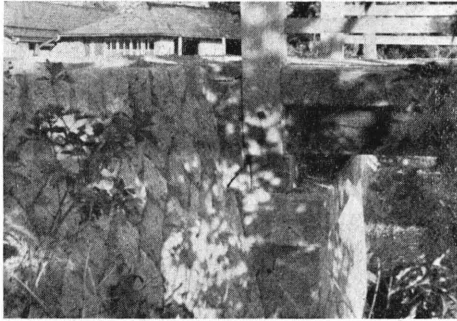
第3圖 福島縣浪江町、石造建倉庫の崩壊



第4圖 福島縣浪江町、土藏造の家屋の破損

(鷺坂・小磯報告附圖)

昭和13年 福島縣東方沖地震被害寫眞 (其の2)
11月5日



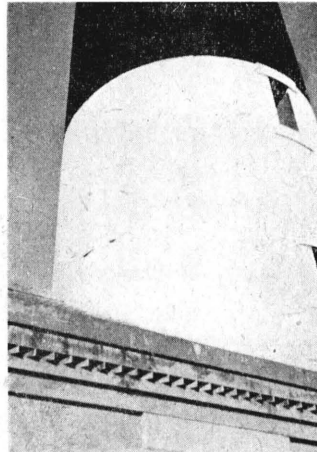
第5圖 福島縣雙葉郡請戸村，請戸橋の橋桁の端の被害



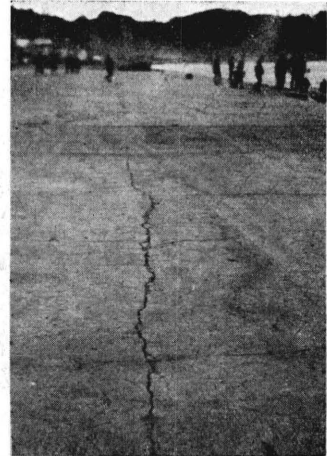
第9圖 福島縣石城郡江名町大字折戸の家屋の裏山の崖崩れによる被害



第6圖 鹽屋崎燈臺の崖崩れと煉瓦塀の破損



第7圖 鹽屋崎燈臺の塔の龜裂



第8圖 小名濱港魚市場舗装道路の龜裂
(警坂・小磯報告附圖)



(寫眞 1) 船川港神明社に於て, 倒潰方向 S20°W



(寫眞 2) 船川港に於ける倒潰家屋



(寫眞 3) 船川港の山崩れ街道を埋め, 路傍の
家が押し上げられた

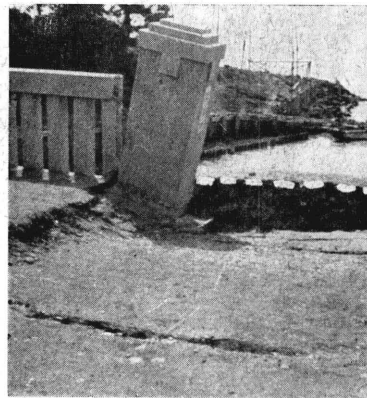


(寫眞 4) 寫眞 3 の山崩れの上の貯水槽の
破壊, これは地中であつたもの

昭和14年 秋田縣男鹿半島地震被害寫眞 (其の2) (鷲坂, 波佐谷
5月1日 半澤, 山本報告附圖)



(寫眞 5) 船川港町釜川倒潰家屋, 一階が潰れてゐる



(寫眞 7) 船川港町羽立比詰橋破損,
白點線は道路面を表す



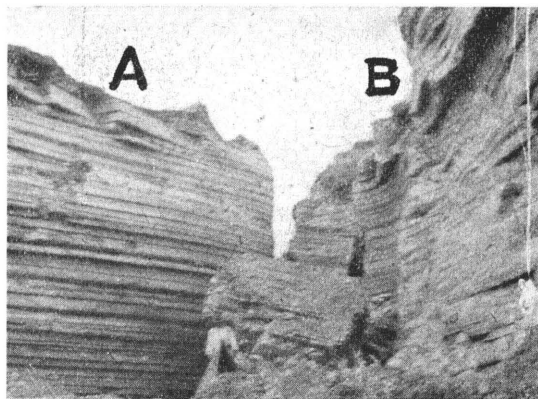
(寫眞 6) 船川港町羽立附近の倒潰家屋,
一階が潰れて街道に乗出した



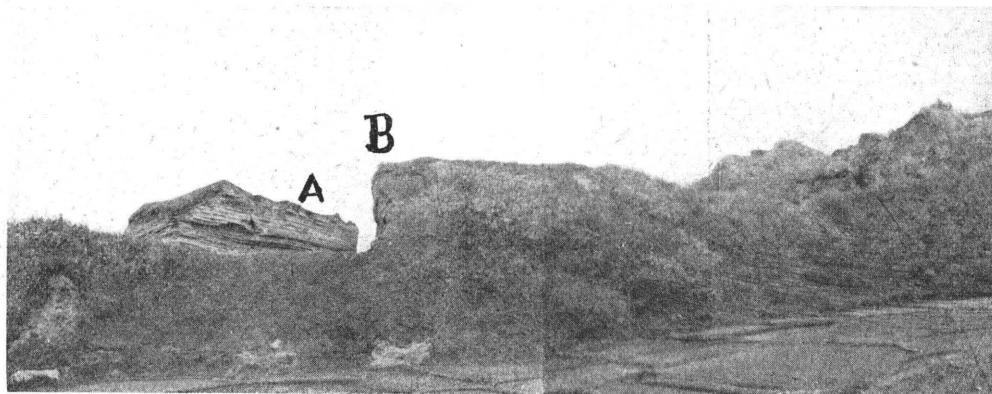
(寫眞 8) 船川港町仁井山に於ける
盛土新道の龜裂



(寫眞 9) 船川港町仁井山に於ける墓石の轉倒,
殆んど總て倒れた



(寫眞10) 男鹿中村小増川右岸の山崩れ,
切斷された面, 左が動いた部分



(寫眞 11) 寫眞 10 の遠景, Aが動いた部分, Bの切斷面は殆ど平面であるがAの
切斷面は比較的Bの側に凸であつた, 右手にも山崩れが見えてゐる

昭和 14 年 秋田縣男鹿半島地震被害寫眞（其の 4） （鷲坂，波佐谷
半澤，山本報告附圖）



（寫眞12）男鹿中村小増川左岸の地すべりで二つの×印は切斷された一本の電柱の上部と下部とである，人の立つてゐる面が鏡肌である



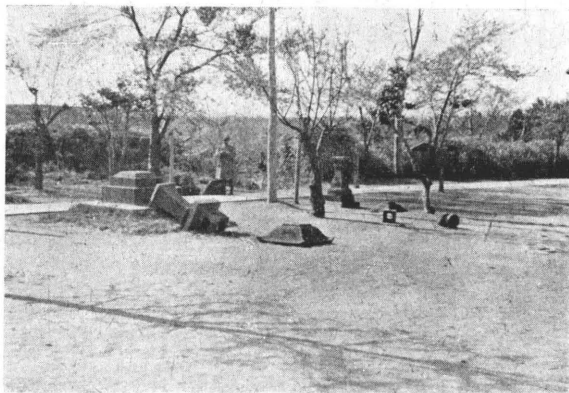
（寫眞14）北浦の相川寄りの地點，左方海岸側が崩れた爲め新道が崩れ左方に移動したと同時に陥没して民家が崩壊した，寫眞15参照



（寫眞13）相川部落の外れより北浦方面を眺む，畑を崩し街道を切り見渡す限り土壤の荒波である



（寫眞15）寫眞14と同じ地點，白點は新道の元の位置，道路の移動陥没が明瞭である，寫眞左側が海岸で山崩れが甚だしい，此處は其の延長である



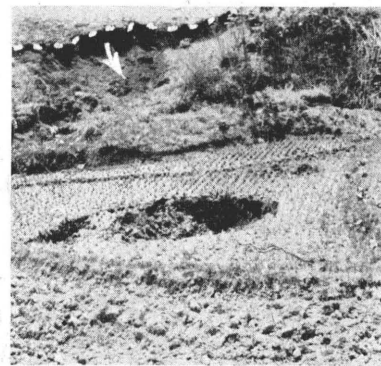
(寫眞 16) 北浦神社に於ける燈籠の轉倒, 其の方向は大體 W30°N であつた



(寫眞 18) 男鹿中村濱間口に於ける倒潰家屋



(寫眞 17) 男鹿中村濱間口附近の崖崩れ, 圓形に畑の中に喰込んでゐる, 此の餘勢は海中に没してゐる



(寫眞 19) 濱間口より五里合村安田へ山越し途中の陥没, 後方も崩れてゐるのが見える

昭和14年5月1日 秋田縣男鹿半島地震被害寫眞（其の6）（鶯坂，波佐谷半澤，山本報告附圖）



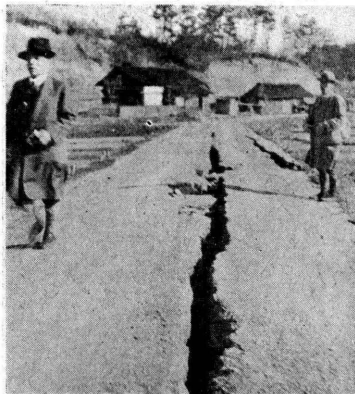
（寫眞 20）五里合村安田附近の道の破壊，此の道は特に盛上で柔かい所であつた



（寫眞 22）五里合村箱井に於ける道路の龜裂，相當固い地盤であつた



（寫眞 21）安田に於ける倒潰家屋，此邊は古い茅葺屋根が多い



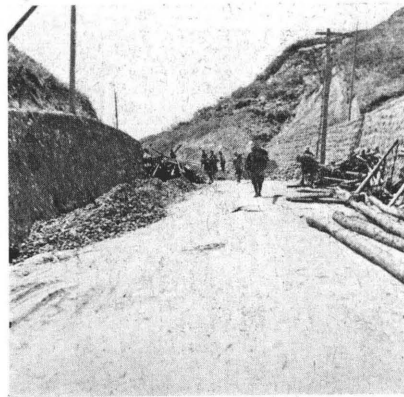
（寫眞 23）脇本村百川に於ける道路の龜裂，眞中に深く長く根強い感があつた



（寫眞 24）脇本村梅澤に於ける貯水池堤防の龜裂，向ふに山崩れが見えて右手に水が溢えられてゐる



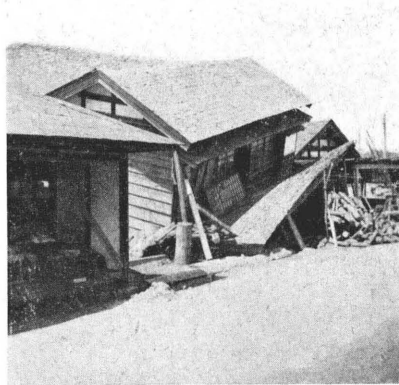
(寫眞 25) 脇本村浦田の貯水池
堤防の龜裂, 缺潰,
點線は缺潰場所



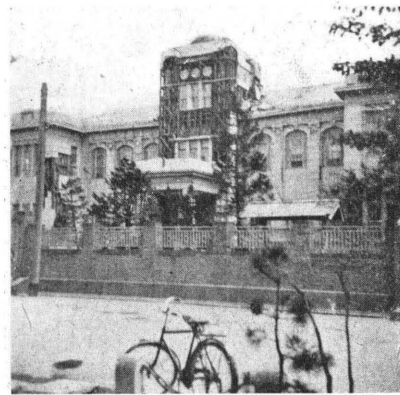
(寫眞 27) 脇本, 船川港兩村境茶臼峠
の崖崩れ, 脇本寄り, 右手
が山, 左手が海岸である



(寫眞 28) 拂戸村倒潰
家屋



(寫眞 26) 脇本驛前の家屋倒潰, こ
れは田圃を埋立てた所で
地盤が柔かい



(寫眞 29) 秋田市, 内務省秋田土木
出張所の木筋コンクリ
ートの破損